仙果編述
豊國畫

Gôkan:(No. 005)
Kongen Mi Muras
Book 11.

へ13
3746
1

嘉永五壬子新刊
初編上
根源
み

根源實紫

初編上冊

笠亭仙果作

一陽齋豊國画

芝神明前

佐野屋發販

於藤作の二本故に武蔵野の草造紙其が縁著と
稱へバいづれも哀と人の愛て涂色なる紫も江戸名物の
随一と
なりぬ扨も又其源乃光源氏の物語昔作る式部の傳記
知まほしやとゆかる幼子達をわりと聞く彼女房の
一代話例の合巻に物せよと也猶同くハ好づもと違ひ實録のまゝ記
あらバ昔の賢女の行状も知まそ些とも教の端ともなりなんと實それも
道理
あるまゝ既在下足利絹の八編にも書し如く似て非なる物なってもそ
人の悦び看給ハバ虚ハ面白く實ハ興浅し加之古書籍観るかと
なれ聞取傍問、のんきんれ紫式部の生年も没年も其、
實名も未知まで唯彼人の日記二冊に客鉢心術自然に

繊細見ゆれバ大方斯もや有つらんと十ニ五ハ推量の臆度ともそ
志くミたまへバ外題にハ實と喚ども實らしき虚あれバ猶そ
興ぞや
深からバ繪様も持まま随へバ穏和なる珍しき
節ハあれど是も亦藤に有縁の亀戸乃名筆外に
まねてのあきなひ力に先一袋二帙喜鶴堂に稿を贈りぬ嗚呼赤本坂
紫色に浅深しつ先師の餘光僕等にまで及べる哉と追善志に卒都婆
の詠歌
家の集より鈔出し小町に縁の世喜寺に拙筆を起るめる

嘉永五年壬子 閏春

東都浅草 笠亭仙果

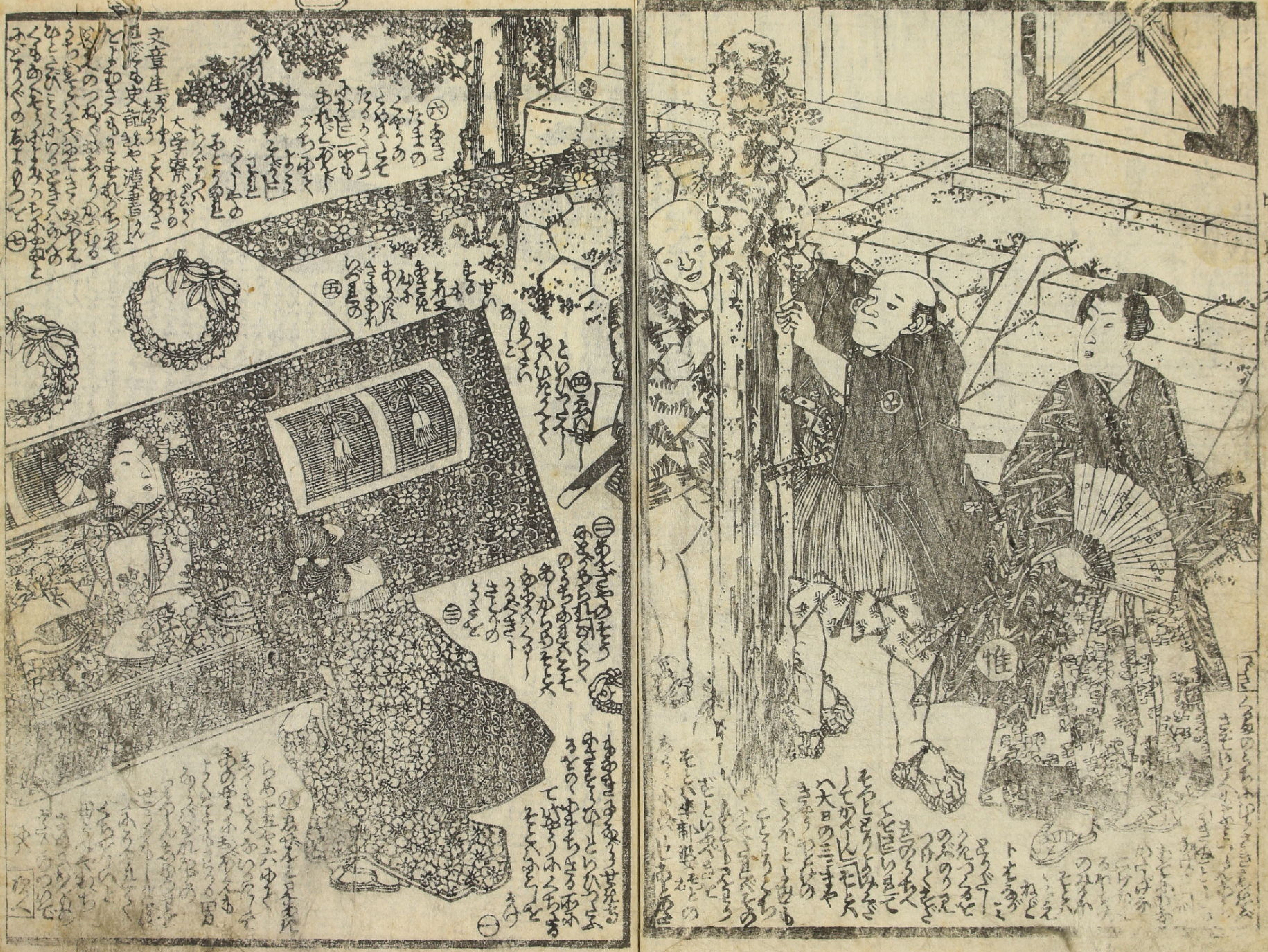
○烏帽子狩衣緋の袴ハ踊れ外にハ画にかきても幼児の目を慰めれバ月代剃て摂政
関白片外しの内侍命婦其趣意ハ年ならでも大事からく車をも乗物にそ次くあきる

○藤原為時の女 紫式部 里居の様

女童寄生木
一條院天皇の
中宮彰子
中宮ハ
御本妻
あり
父為時
式部丞
藤式部と
紫式部
再出
家集

女郎花
さかりの色を
みるからに
露のわきける
身こそしらるれ
式部
しら露ハ
わきても
おかし
女郎花
心からにや
色の
そむらめ
御堂殿

摂政太政大臣
藤原道長公
俗に御堂関白と申けり
右衛門権佐宣孝女
賢子
後大弐三位と呼ぶ

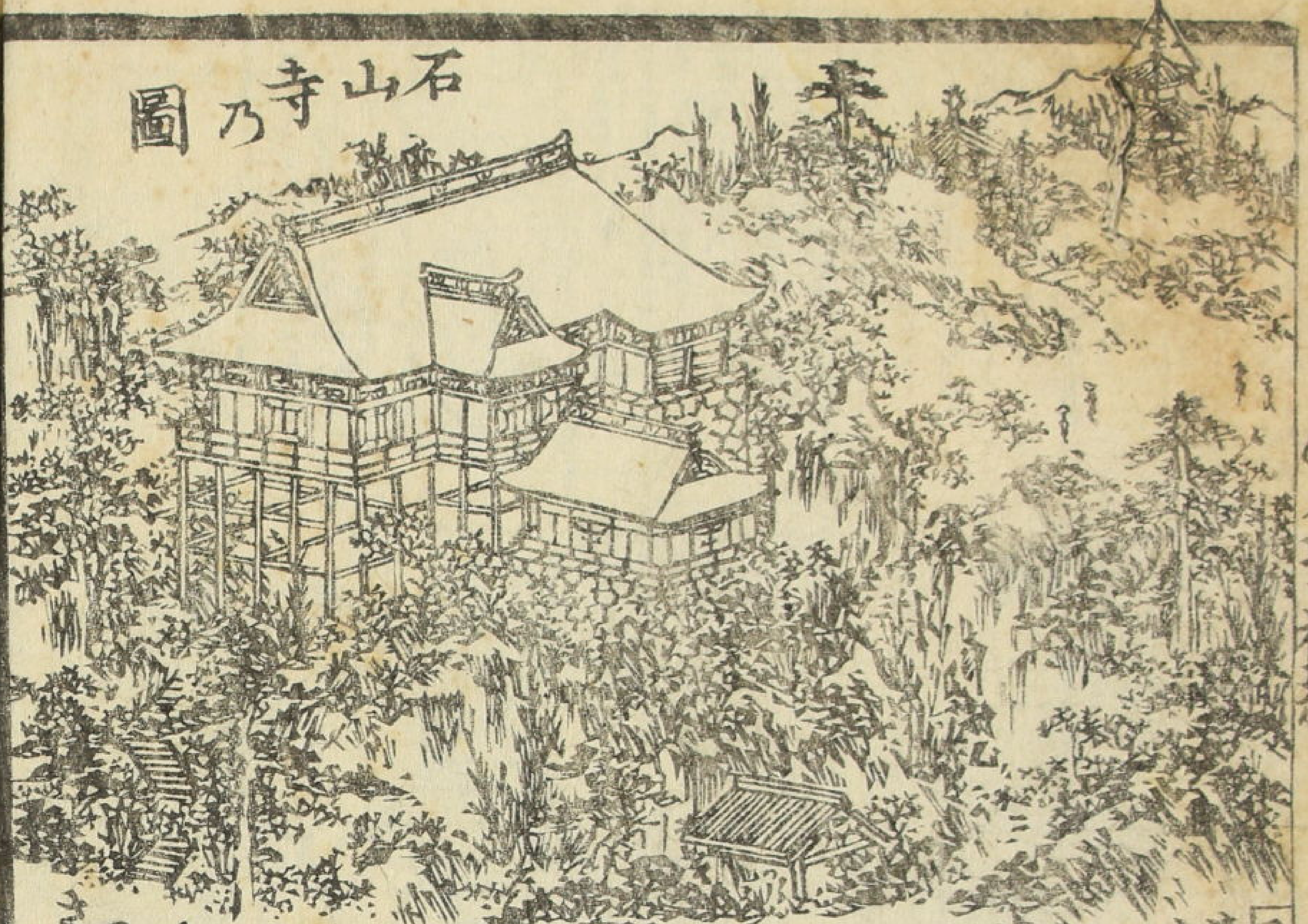


文章生
大学寮
惟

つゞき

推
中
少

院
長宮
鳥理
三又
女中



石山寺乃圖

[illegible]

諸合薬

江戸芝大通宇田川町西側中程

紀伊國屋九兵衛

御薬種丸散丹圓諸合薬精製吟味別而入念申候

其外奇薬最上極品貯且定價廉直也

古伽羅	マナハン	サツラ	新伽羅
ラコク	マナカ	スモタラ	和サツラ
赤栴檀	白檀類	練香	沉香類品々

匂香六國七種組合せ代金壹分ヨリ段々上品

其外若御望次第種々差上申候

霊方 雷除神丹

此神丹ハ世に並なき霊験の妙薬にして雷除ハ勿論その外の病にも効あること妙なり

漬丁御薫物

御居間○爐○風爐○手爐○火入等へ薫じて不浄を除く

臘梅香

身へきみ…ぞくりし…酒壽二日…

萬病牛黄丸 大人小児男女諸病急症を救ふ妙薬

鮮地黄丸 虚労まつめ虚血とおきあへ…

日本一の妙薬 清香散

加正散

旅行懐中御用意薬 畳入あり

御匂嚢 御袂入掛香 御進物御箱入…差上ケ

嘉永五歳壬子初春新販物目録

繪同見両切 十二編大尾 京山作 国貞画

…兇のとれ さうし 九編十五冊 京山作 国輝画

前右衛門花の兵庫 四天王権輿 其昔花街侠気 六 …西馬作

風流 絵事切 手本 …

東海道五十三次 …たやう入 廣重筆

全 風景入 女絵 箱入 …

東都地本繪草紙團扇問屋 芝神明前三島町 佐野屋喜兵衛板

仙果作
豊国画
初編下
芝三島町
喜鶴堂梓

壬子開春 新刊
上梓

○のちのよを

袴垂保輔
坂田公時

「つゞき」かくべきことのおそれどもそれつゝあるちからかるしくそうろう
かゝるきかくけれバとのゝかんのてのすこしもつてまことあれ
ならずのとどかいけりかうかづくにこちもわらんようよみ
むかしそのひめくらし
ロ五十二代のこうとむかし天王のおんと弘女御[illegible]
あまてらすおんひめのきさき[illegible]かゝの大おぞんの
あいあらそひの[illegible]一のにこみそうちかせあくり
どうおそそてゝあんかよのゝ[illegible]ちかきちく
うまれぬなきてもむかしのきさきのおも
おとまりとかくきさきあへ
ようこそびたてまつる
おひいようやく入内[illegible]おけし
丸でうのくらゐへんのちうきこけうとの
ひめぎさくあひつきのかきことゝ
やへちて大おぞんのおんめきわれ
わかくすよみかうひあく
そうじのおんあわれもむきのとおそれ二の
みやさかゆかうたかまかりさきで のみこを
うちゝて東宮ちうかたてきさ[illegible]六十二代の
うらど冷泉院[illegible]と[illegible]二のきさき[illegible]
ねとこの大おんぞん[illegible]一の[illegible]やうもよふわいところ
てきくおんきかと[illegible]つくわひあのちか[illegible]きて
ちとそうをおよそのおとうかわづらとくらもくてゝも
あむかきつとひとそうらくせをとこちのるかしくもえ
ねどもとどふこ四つはおいそく[illegible]
かの女御[illegible]一のきにてひそうあいよふかきさと
みぞかつかけるおんゆのきそのちのとどへいくど
あるきてちて丸でらうどのきせのよ[illegible]
よくおかくもきてしまるへあしれでゆるの
女御[illegible]中ぞうふるおりのおもひよく
あまりのこころ[illegible]よろこび[illegible]
あり[illegible]東宮[illegible]
てきなりあやこのそえね[illegible]
こりを[illegible]
あくまで[illegible]とろ
よりのゝころかく
うつ[illegible]
おもとつちの
[illegible]そりて
おやち[illegible]ひがち
[illegible]
[illegible]ひ[illegible]
[illegible]めてゆうの
[illegible]ひはけれバさるぐらか
[illegible]どもその[illegible]
[illegible]東宮[illegible]十八の[illegible]
父[illegible]ひせ[illegible]
[illegible]五の[illegible]
[illegible]のあくれん
[illegible]
[illegible]
[illegible]五の[illegible]
因[illegible]院[illegible]
みかど[illegible]
みひ[illegible]の
みと[illegible]「後」

嘉永五壬子年孟春新刊目録

根源實紫（こんげんえむらさき） 初編二編三編 笠亭仙果作 香蝶樓豊國画

此さうしハ源氏物語の作者紫式部の一代記なりかの [illegible]

睡郷讒言（そのゆめ?） 七ツ組入子枕（ななつくみいれこまくら） 五編六編 笠亭仙果作 一勇齋國芳画

おくみ総次郎 琴聲美人録（きんせいびじんろく） 七編八編 山東庵京山作 一雄齋國輝画

關太郎鈴鹿故語（せきのこたろうすゞかものがたり） 三編四編 樂亭西馬作 一雄齋国輝画

一休禪師諸國物語（いつきうぜんじしよこくものがたり） 初編二編 五柳亭徳升作 朝櫻樓国芳画

前太平記 船櫓黒崎合戦（ふなやぐらくろさきかつせん） 四編 樂亭主人編譯 玉蘭齋貞秀画

江戸地本繪草紙團扇問屋 芝神明前三島町角 佐野屋喜兵衛 板

一陽齋豊國画

〔つゞき〕 [illegible]

弘徽殿の女御 入内あり [illegible]

笠亭仙果作

[illegible]